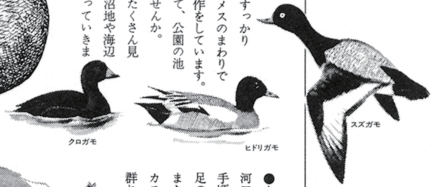
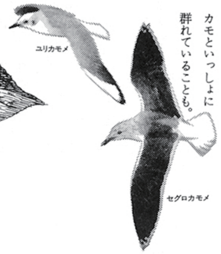
冬の野鳥メモ


クロガモ
ヒドリガモ
スズガモ

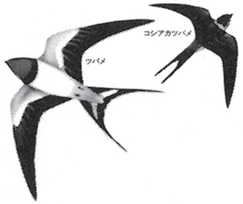
●カモの観察

下旬には、オスもすっかりきれいになって、メスのまわりでいろいろな求愛動作をしています。パンくずでも持って、公園の池などへ見に行きませんか。いろんなカモ類をたくさん見ようと思ったら、沼地や海辺へ双眼鏡を持っていきましょう。


ユリカモメ
セグロカモメ

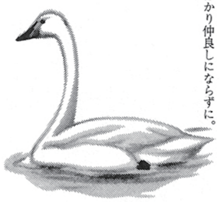
●カモメの群れ

河口や港に集まっています。手頃な探鳥地です。足の色や背中の色が識別のポイント。また、埋め立て地の水たまりにも、カモといっしょに群れていることも。



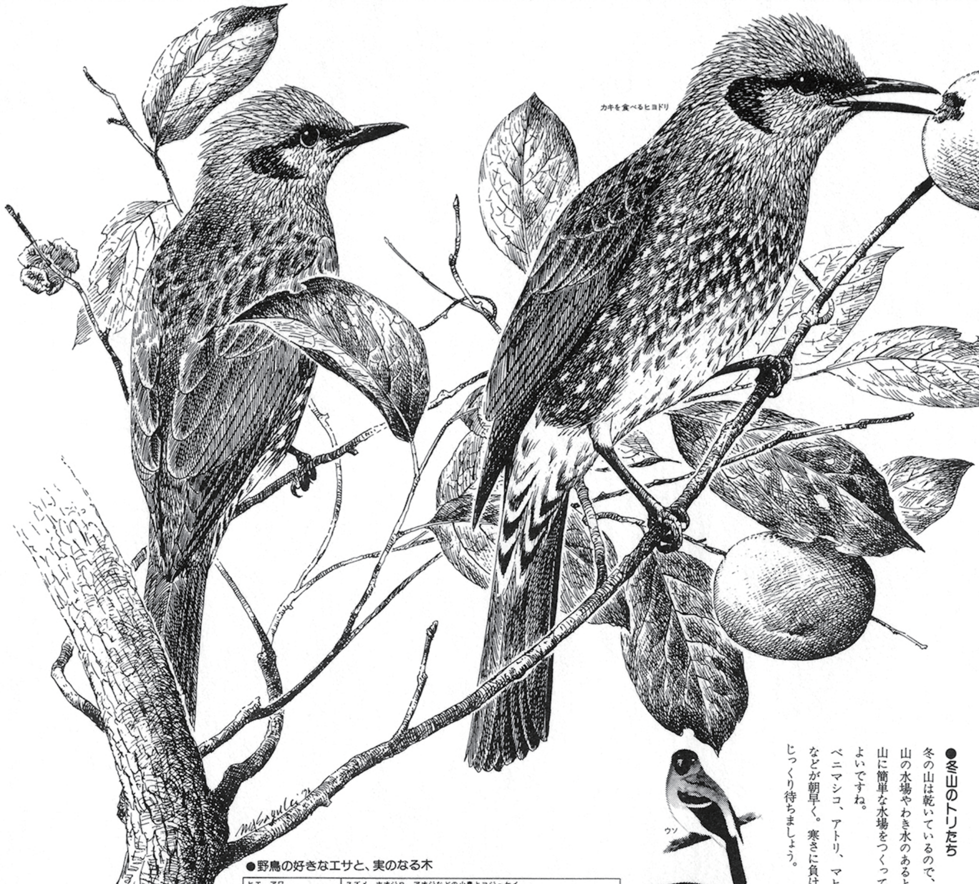
●ツバメの越冬

11月になるとほとんど見られなくなるツバメですが、なかには日本に残って越冬するものもあります。



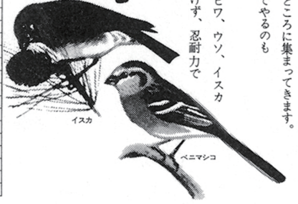
●ハクチョウ渡来

北海道の尾岱沼、青森県の小湊海岸、宮城県の伊豆沼など。福島県猪苗代湖や島根県中海は、コハクチョウが。寒いからといって、コタツやストーブとばかり仲良しにならずに。



●冬山のトリたち

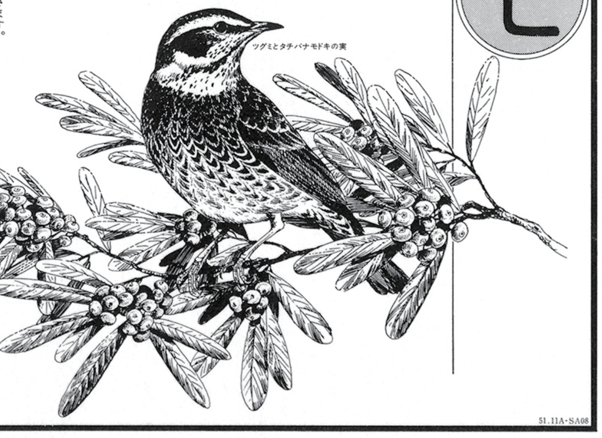
冬の山は乾いているので、山の水場やわき水のあるところに集まってきます。山に簡単な水場をつくってやるのもよいですね。ベニマシコ、アトリ、マヒワ、ウソ、イスカなどが朝早く。寒さに負けず、忍耐力でじっくり待ちましょう。



●野鳥の好きなエサと、実のなる木

ヒエ、アワ	スズメ、ホオジロ、アオジなどの小鳥とコジュケイ
アサの実	スズメ、カワラヒワ、シメ、ウソ、ベニマシコなどくちばしの太い種類と、ヤマガラ
ヒマワリ、カボチャ、スイカのたね	カワラヒワ、シメ、シジュウカラ
クルミ、ピーナッツ	シジュウカラ、ヤマガラ、コガラ、ヒガラなどカラ類の大好物
パン（5ミリ角）	オナガ、ムクドリ、ツグミ、シジュウカラ、ウグイスなど
砂糖水、ジュース	ウグイス、ヒヨドリ、メジロ
牛やぶたのあぶら身や骨	シジュウカラなどカラ類、ウグイス、オナガ、モズ
リンゴなど果実	シジュウカラ、ツグミ、オナガ、ムクドリ、ヒヨドリ
トキワサンザシ	オナガ、ムクドリ、ヒヨドリ、ツグミ、ジョウビタキなど
タチバナモドキ	たくさんの種類の鳥がたべる
ヒサカキ	たくさんの種類の鳥がたべる
マサキ	ジョウビタキ、ツグミ、アカハラなど
イヌツゲ	ヒヨドリ、ツグミ、オナガなど
サンショウ	オナガ、ヒヨドリ、メジロなど
ツルウメモドキ	ジョウビタキ、ヒヨドリ、ツグミ、キレンジャクなど
カキ	ムクドリ、オナガ、ツグミ、ヒヨドリ、スズメ、ウグイスなど

そのほか、山野にはえる木で、ミズキ、イイギリ、ウワミズザクラ、ヌルデ、キハダ、カラスザンショウ、クサギ、モチノキなどが、多くの鳥に好まれます。


ツグミとタチバナモドキの実

●庭に小鳥を

寒くなればなるほど、トリたちのエサが不足してきます。そこで、庭に小鳥を、のチャンス。エサ台をつくって招待するのも結構。トリたちの好きな、実のなる木を植えるのも結構。植木のほうは、ことしは間に合いませんが、今後にそなえて。そろそろ、ムクドリやスズメ、オナガなどの身近なトリが、群れをなしてねぐらをつくる頃です。

●ネコ対策を忘れずに

エサ台を高くするとか、広く見通しのよいところに置くとかしてください。「ネコに取られるような野鳥は、具合のわるいものだから、健全な種属の維持にはプラスなのだ」という意見もありますが、やっぱりかわいそう。

ヒトの心の中に「トリの保護区」を

財団法人日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社がシリーズとして制作するものです。

●美しい自然＝「庭に小鳥を」のパンフレットをおわけします。ご希望の方はお名前と住所・性別・年齢・職業をお書きになり、誌代として切手300円同封のうえ次の宛先までお送りください。〒103−91 東京都中央区日本橋局区内私書箱第231号 サントリー株式会社愛鳥キャンペーン「庭に小鳥を」係